

【主催】 米川よろず会議

「小さな自然再生」研究会 / 日本河川・流域再生ネットワーク

【協力】 滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室 / 公益財団法人リバーフロント研究所

## 「小さな自然再生」現地研修会（第19回）開催報告

2023年10月15日（日）滋賀県長浜市・米川



開会



米川歩き



集合写真



アイデア交換



日本河川・流域再生ネットワーク

2024年1月



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

# 「小さな自然再生」現地研修会（第19回）

## 開催報告

2023年10月15日（日）滋賀県長浜市・米川

### はじめに

滋賀県長浜市内を流れる米川において、「『ウォークアブルな米川』の未来像」をテーマに、米川とまちなかを実際に歩き、自然環境・まちづくり・流域治水などの観点からウォークアブルな米川の未来像とその具体的な方法を見出すことを目的に、2023年10月15日（日）に「小さな自然再生」現地研修会を開催しました。

この開催報告は、研修会の参加者とともに学び議論した内容の一部を、当日の写真を中心に皆様にご紹介するものです。

本研修会にご参加、またご協力頂きましたの皆様に厚く御礼申し上げます。

2024年1月

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

## 開催概要

- 開催日時： 2023年10月15日（日） 10:00～17:00
- 開催場所： 滋賀県長浜市<座学：北国街道 安藤家／現地：長浜市街地 及び 米川>
- 参加者： 39名
- 主催： 米川よろず会議／「小さな自然再生」研究会／日本河川・流域再生ネットワーク
- 協力： 滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室／公益財団法人リバーフロント研究所

## プログラム

### (10:00～12:30) 概要説明、米川&まちウォーク（現地視察）

- 現地案内・進行：竹村光雄（長浜まちづくり会社）
  - 参加者とともに米川の中とまちの中をフィールドワークしながら「かわ」と「まち」を学びました。

### (12:30～13:30) 昼食

### (13:30～17:00) 米川を活かしたまちづくりアイデア会議

- ゲスト：岩ヶ谷充（ONE RIVER）
  - 米川よろず会議のアイデア紹介
  - 議論「米川&長浜 これからのまちづくり」  
（事例紹介：愛知県岡崎市乙川のかわまちづくり）

### (17:00) 終了・閉会

## 開会挨拶



主催・共催者を代表して、米川よろず会議／長浜まちづくり会社の竹村光雄さんより、今回の開催経緯を含む研修会の趣旨説明を行いました。

## 米川&まちウォーク (午前)



胴長を装着しての長浜市内のまち歩き



ここから米川のかわ歩き



街を歩く方々から「何やっているの?」と抜群の注目度



米川の生きものや水文化を満喫



「湖北の暮らし案内所 どんどん」前にて記念撮影をしてかわ歩きは終了

## 米川を活かしたまちづくりアイデア会議（午後）

テーマ：「『ウォークブルな米川』の未来像」

午前の長浜市内のまち歩き、かわ歩きを踏まえ、地元のアイディアや他地域での取り組みを学びながら、『ウォークブルな米川』の未来像について参加者でアイデアを交換しました。



AhaSlides

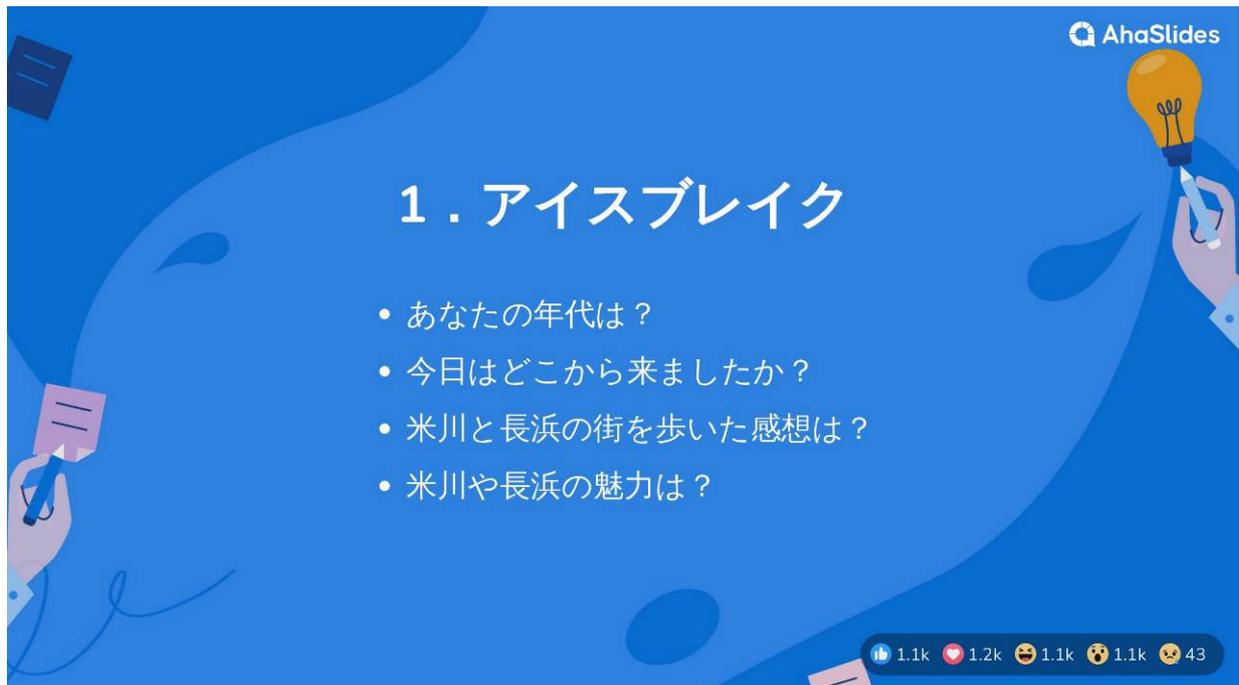
### 本日のメニュー

1. アイスブレイク
2. よろず会議アイディア紹介
3. 米川&長浜 これからのまちづくり  
事例紹介「愛知県岡崎市乙川のかわまちづくり」  
(ゲスト：岩ヶ谷充氏)

議論：あなたの米川の未来アイデア  
：アイデア実現のために必要なこと

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43

## 【アイスブレイク】



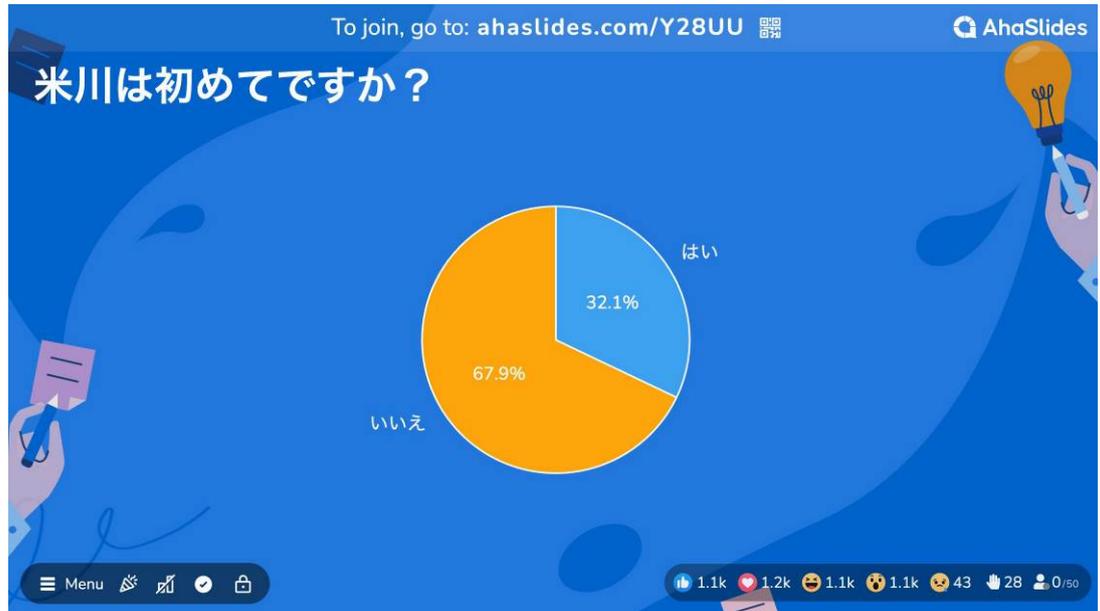
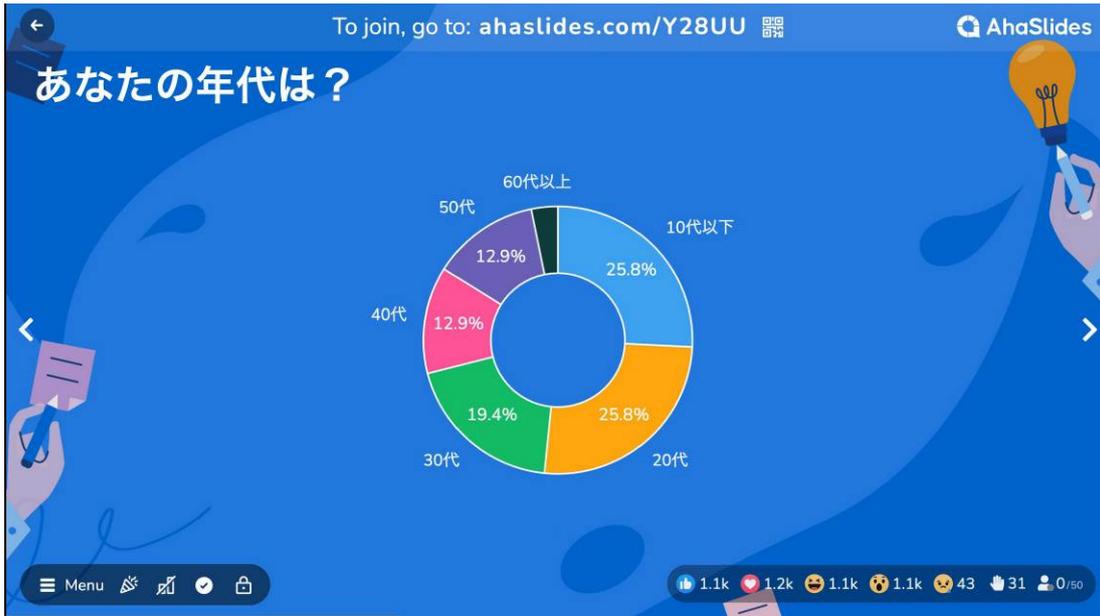
AhaSlides

### 1. アイスブレイク

- あなたの年代は？
- 今日はどこから来ましたか？
- 米川と長浜の街を歩いた感想は？
- 米川や長浜の魅力は？

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43







AhaSlides

## 米川と長浜の街を歩いた感想は？

水辺に降りていけるアプローチが最高

ヨシノポリが大きくなってた！

楽しかった！！

普段は見ない方向から街を見れたから新鮮だった

歩いたことかない場所も歩けたので、楽しかった！！

いつもと違うまちみたい

川とまちと木と空が全部見える。

川を中心とした歴史と文化と街並みと暮らしの融合。

たのしかった！！

川の水が綺麗、川のことを沢山知れた

魚種がたくさん

川とまちの繋がりを感じた！

魚取りが楽しかった。

思っていた以上にキレイでした。

いつも歩かない方を歩いて新鮮だった！陶器がいっぱい落ちてた！魚捕まえるの早すぎてびっくりした！

街中の景観が綺麗で、自然が豊かで、とても気持ちよかった！

水辺と人との物理的・文化的距離が近くて過ごしやすい。

水圧を感じた

町中の川なのに、キレイで、生き物が普通にいる

米川中心の生活を知れたこと

結構生物が多様だった

木漏れ日とか超いい感じ！

長浜の歴史と生活に密接に関わっている米川が、静かに時代を見守ってきた。

町中の道と米川の立体交差感が面白いぜ。結節点か沢山ある、曳山会館、どんどん橋など拠点としてのポテンシャルが高い場所が多い。



歩くともっちゃ藻とれる

生活の一部に米川が馴染んでいたことの証拠としてカワドがあった古い町並みが綺麗だった

橋の上から川歩きに興味がありそうな観光客が沢山いた。川歩きが観光コースになるかも。



家からの米川へのアクセス

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43 28

AhaSlides

## 米川や長浜の魅力は？ (米川初めての人)

人の手によって作られた川とまちの歴史

流れ

歴史的な背景

たくさんの水生生物が息づく川

川に降りやすい

生き物の多様性

きれいな水

魚が取れた

入りやすい

街並み

観光と生活の融合

川にとけこんだままのまちの風景

街川空

町が賑やか

水が綺麗

日常生活との距離

町中の水路のような見た目だが、生物が多い。

様々な視点で街のことを知れる

水草

アクセスがよい

浅い

魚

子ども達が入れる

橋の下を歩ける

名物みたいな食べ物もわかりやすい

初めてじゃないけど川歩きは初めてだったので新鮮

おだやかさとにぎやかさがどちらももある、観光と生活

自然や歴史文化などと共生してきた様子が見てとれる

米川のオリジナリティは、人間生活と密接であること

まちと川の距離

駅から近いところに中心市街がある感じ？

川から読み取るまちの変化

街の賑わいに溶け込みつつ、景観を形成。

水の流れ。早過ぎず淀みすぎず、音も静か。

子ども達が入れる

橋の下を歩ける

子ども達が入れる

橋の下を歩ける

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43 38

AhaSlides

## 米川や長浜の魅力は？ (米川初めてじゃない人)

観光客さんへのインパクト！

活用したら、さらにまちづくりの活性化につながる

街の中に流れている

子どもたちが遊べる所

川を歩くことで、空が綺麗だと気づける。街を見ようと

米川から見る石垣

食べ歩き可

可愛いワンちゃんが多い

タイムリープできる！

生き物の多様性

歴史を感じられる

川と橋の上から人とコミュニケーションをとれる

石垣がかっこいい

観光地の中にキレイな川が流れていること

石垣のバリエーション

どんだん橋あたり最高

歴史を感じられる

知ると面白いようなことが沢山ある

川、人、まちのつながり

魯山人と旦那衆

豊かな文化

自然がいっぱい

自然と人との共存の場所

食べ歩きが楽しい

自然がきれい

人が米川を自然と親く

時代が読める

冒険感

歩くが目立つ

家からでも見られる魚たち

川を歩いていると音が風に乗る所

エリアマネジメントをもっと外へ

歩きやすい

川に降りたり上がったり、考えたり試したり

河床の足が赤い

子どもが遊べる

みんな知ってる

街に密接している

汚かったのに、キレイになってきた

街の中心地に川があるから、川と馴染みが深い！

多くの方が川に関心がある！米川見ている人たくさん

ミックスのソフトクリームがアカハライモリっぽい

夷山博物館あたり道と米川の結節点としてポテンシャル

川の水位変化に対応した宅地のづくり

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43 58

地元及び地元外の参加者より、午前のまちと川歩きから米川と長浜の魅力を集約

## 【米川よろず会議アイデア紹介】



教育資源としての米川、また米川を活かしたまちづくりについて米川よろず会議より紹介



## 【米川&長浜 これからのまちづくり ①事例紹介】





AhaSlides

### 3. 事例紹介（愛知県岡崎市） 感想や質問をどうぞ。

妖怪橋ふき→妖怪石洗い  
川まちづくりの成功事例だと思う

川からまちへ森へ学びに行くと、流域が繋がる！  
乙川が居場所として機能している様子でとても良い  
one riverの意味がよく分かりました。  
川への愛・熱意が超素敵でした！  
楽しむためには続けることが必要ということが印象的！  
one riverという「現象」。羨ましいです。  
「遊ぶ→学ぶ→暮らす」激しく同意！ 川へ関わっている人が楽しそう！  
乙川の石垣の話！米川には上流の花崗岩が落ちてた！！  
息子もアオイくんみたいに育ってほしいなあ

1.1k 1.2k 1.1k 1.1k 43 18

## 事例紹介「川であそび、川にまなび、川と暮らす ～未来の日常を描く。公共空間を舞台にした新しい時代の風景づくり～」 (岩ヶ谷充：ONE RIVER)

- おとがワ！ンダーランドのはじまり。乙川からはじまる新しい日常
- 乙川に生まれる愛の物語 「乙川らしさ」が自然と生まれる場所を目指して
- 自然と都市が交わる暮らし川とともに暮らすから生まれる循環性
- かわまちづくりの新たなるステージ 乙川に生まれる「ONE RIVER」という現象

⇒ 講演資料は巻末「参考資料」を参照

## 【米川&長浜 これからのまちづくり ②意見交換】



# あなたの米川の未来アイデア

パブリックスペースを作る  
川沿いの屋台で買って食べ歩き  
入口はハードル低く、川好きな人を取り込む仕組み  
川に降りる階段にそれぞれ愛称つけて疑似バス停する  
米川にどんだんのようなスペースをつくる

胴長を貸し出す。

川戸の活用

陶器ガラスごみのない胴長無しでも川に入れる環境作り  
川に興味を持った方がすぐに川に関われるように  
自宅の雨庭からつながる小さな水循環の再生  
米川系youtuberが米川の魅力を発信

川遊びもできることを観光のアピールに組み込む

観光客の川関心度高い→川へ飛び入り参加!! 舟運を復活させて、米を運んでみんなで食べる  
とりあえず米川にいてみることに遊ぶ ワークショップをとにかく開催してみるべきだと思う!

歩行者天国 米川bar 川の中、qr解説

県・市・大学・高校・中学・企業で、かわーケーション

ゲリラ開催川さんぽ 歴史や風情を生かした街づくり

参加者を絞らない、ゲリライベント

アメニワーズ 川船 子どもたちとバーチャル米川作りたい

親子川あそび体験

米川を中心としたまちづくりを行う 川と来訪者の距離を縮める仕掛けづくり。川歩き?

あなたもあなたもよろず会議!

米川胴長マラソン 入口になる「楽しい機会」と奥行になる「学びの機会」

川沿いのウェダーレンタル 川チャリ、川散歩、川鬼ごっこ、川公園

興味のある人がすぐ川に入れる企画をゲリラ開催 川入口があるお店(飲食、雑貨、本屋)

ふらっとだれでも立ち寄れすぎる米川 雨庭を公共施設に作って、モデルケースにしたい グリーンインフラ開発基準づくり

天然の水族館のような川づくり 次の会議やイベントは 米川の会議とかを川の近くで椅子を持って行ってやる!

川への階段それぞれに愛称をつけて、バス停みたいに バーチャルかわまちづくり会議

米川に対する世代ギャップを縮める

ようかい桶洗い→ようかい石洗い

胴長通勤・通学

米川定食

米川に入って遊ぶ

胴長貸し出し

長浜雨庭コレクション

水陸両用まちあるき

川留学やりたい

米川沿いの空き家を使う

米川歩き×小さな自然再生

米川きんつば

米川ピアガーデン

👍 1.1k ❤️ 1.2k 😄 1.1k 🤖 1.1k 😞 43 🙌 88

# アイデア実現のために必要なこと

地域協力  
 地域に学校にチラシを配って子供を集める  
 地域に住民へ伝える  
 雨庭モデルづくり  
 米川について知ってもらおう

継続的な行動  
 お金集め  
 関心層の拡大  
 雨庭モデルづくり  
 活動の継続  
 oneriverという現象  
 プレイヤーを増やす。

まち歩きマップ（カワトは私有地なので丁寧に）  
 商店街の方々との協力が不可欠かもしれませんね。  
 米川の普段の水、大雨のときの水の動きを見せる  
 米川生き物図鑑 yをつけたらyone river 人集め  
 米川沿いを利用する人全体のnoポイ捨て意識  
 米川のリアルを伝える 仲間あつめ  
 楽しい活動の企画 確かな技術  
 マップ作り

川のなかからの視点  
 yをつけたらyone river  
 川歩き  
 定期的な米川散歩  
 継続的な情報発信  
 ワークショップ

周辺の景観を整える  
 地元住民たちの理解と参加  
 かわそうじ  
 米川沿いに米川よろず会議の拠点をつくる  
 ワイワイone river  
 ここに来たら川に関わる場所を知ってもらおう  
 いろんな方向でいろんな事をやり続ける  
 川の中で遊べんだり食べたりできる場所

マップづくり（街スケール・流域スケール）  
 川に関わるハードルを下げるイベントや道具準備  
 幅広い年齢層の方々の関わりしろをつくる  
 魚が隠れる場所  
 川入って楽しいって姿を見せる  
 発信（米川tube）  
 米川を愛する心  
 米川で遊ぶこと  
 川歩きを定例化  
 やりたいことをあつめる

## 参考資料 1 (事例紹介の講義資料)

### 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (1/13)



# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (2/13)



**自己紹介**  
Profile

public

- 1 NPO岡崎まち育てセンター・りた  
(まち育て推進チーム・プロジェクトパートナー)
- 2 スノーピークビジネスソリューションズ  
(リノベーション推進委員会・プロジェクトパートナー)
- 3 ONE RIVER  
(事業局長・プロジェクトマネージャー:2021年5月～)

private

- 4 岩ヶ谷 充  
(38歳・男性・静岡県生まれ石川県在住)

Photo: yamada Akashi

1 2 3 4

おとがワ!ンダーランドのはじまり。  
乙川からはじまる新しい日常

【2015年～2020年】

**Home River**  
愛知県岡崎市

乙川 (矢作川水系)  
流域面積: 258km<sup>2</sup> (岡崎市面積: 387.2km<sup>2</sup>)  
河川延長: 34km

2015年～国土交通省「かわまちづくり支援制度」に登録  
そこから6年間にわたって社会実験プロジェクトを展開

**乙川河川敷**

市街地の真ん中にある河川  
広い河川敷  
岡崎城などの歴史的背景  
東岡崎駅から徒歩5分の駅近  
鳥や魚などの多様な生態系  
のらけた空だからみることができる夕日

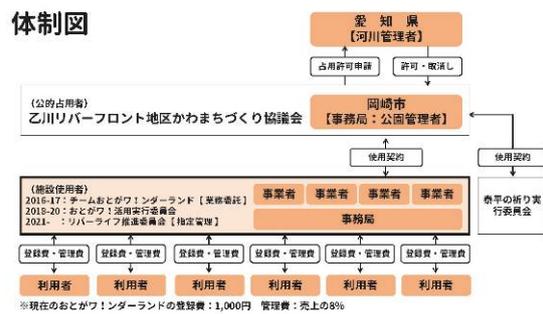
# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (3/13)



**「自由と責任」とにかぐ使ってみる。**

桜まつりや花火大会等の大規模なイベント時以外の活用(遊休資産の活用)や公共空間の類雑な使用ルールを見直し(活用ルールの構築)ための実験的な公共空間活用プロジェクト

「使えない場所」を民間(事業者や市民活動団体)に開放し、「使ってみる」ことで場所の可能性を探る



# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (4/13)



1 2 3 4

乙川に生まれる愛の物語  
「乙川らしさ」が自然と生まれる場所を目指して

【2021年～現在】

2021年3月末をもって社会実験終了  
指定管理制度を導入し、民間主体の管理体制へ移行

# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (5/13)

これまでの活動より見出した乙川にとって大切なこと

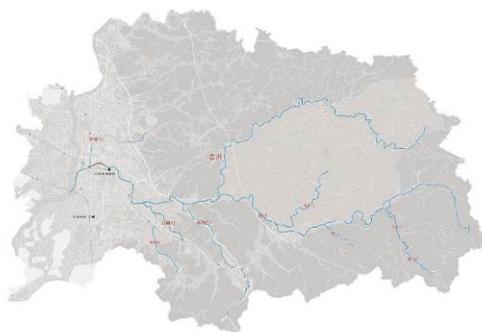
この場所にはいろいろな生き物が生息しているということ



乙川を介して様々な産業と結びついているということ



この場所は乙川を通じて上流部の山や森とつながっているということ



「乙川らしさ」が生まれる場所を目指して養育された  
乙川が大好きな市民による任意グループ





# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (7/13)



川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (8/13)



# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (9/13)



ONE RIVER project

川とまち、川ともり、人と人がつながる。暮らしの発信拠点

殿橋テラス -River Port village-



# 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (10/13)



川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (11/13)



1 2 3 4

かわまちづくりの新たなステージ  
乙川に生まれる「ONE RIVER」という現象





## 川であそび、川にまなび、川と暮らす 講演資料 (13/13)



## 参考資料 2 – 参加者募集チラシ（表面）



### 【開催趣旨】

米川は、長浜市街地を流れ琵琶湖に注ぐ一級河川で、湧水を水源とし夏はアユが遡上する大変きれいな川です。また、まち側からのアクセスもよく、川の中をじゃぶじゃぶ歩くことができるという、全国的にも貴重な「ウォーカブルな川」と言えます。現地では地域の企業や団体、大学などの有志がグループをつくり、清掃や小さな自然再生、にぎわいづくりに取り組んでいます。

本研修会では、米川とまちなかを実際に歩き、自然環境、まちづくり、流域治水などの観点から「ウォーカブルな米川」の未来像とその具体的方法について参加者とともに考えます。

開催日時	令和5年10月15日（日）10：00～17：00（集合時間：9：50）
会場	「北国街道 安藤家」 + 長浜市街地 + 米川
対象	高校生以上の関心のある方々
定員	30名（予定）
参加費	無料
持ち物	胴長靴（ウェーダー）、昼食（弁当を事前注文可能 ※裏面参照）、雨具 ※胴長の貸出希望の方は申込時にお伝えください。
プログラム	※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。 ※主催者側で行事保険に加入いたします。

※参加申込方法、集合場所&会場へのアクセス、問合せは裏面参照。

### （10:00～12:30）概要説明、米川&まちウォーク（現地視察）

#### ■現地案内・進行：竹村光雄（長浜まちづくり会社）

- 参加者とともに前半は「みち」、後半は「かわ」をフィールドワークしながら「かわ」と「まち」を学びます。

※胴長or濡れても良い服装に着替えて移動

### （12:30～13:30）昼食

### （13:30～17:00）米川を活かしたまちづくりアイデア会議

#### ■ゲスト：岩ヶ谷充（ONE RIVER【愛知県岡崎市】）

- 米川よろず会議のアイデア紹介
- 議論「米川&長浜 これからのまちづくり」  
(事例紹介：愛知県岡崎市乙川のかわまちづくり)

### （17:00）終了・閉会



河川  
基金

公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：米川よろず会議、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

協力：滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室、公益財団法人リバーフロント研究所

(MEMO)



## 「小さな自然再生」現地研修会（第19回）開催報告

～ 2023年10月15日（日）滋賀県長浜市・米川 ～

2024年1月28日

【発行】

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階

公益財団法人リバーフロント研究所 内

電話:03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640

E-mail: [info@arr.net](mailto:info@arr.net)

URL: <http://www.arr.net/jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

※JRRN 事務局は、公益財団法人リバーフロント研究所が公益を目的に運営を担っています。